

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

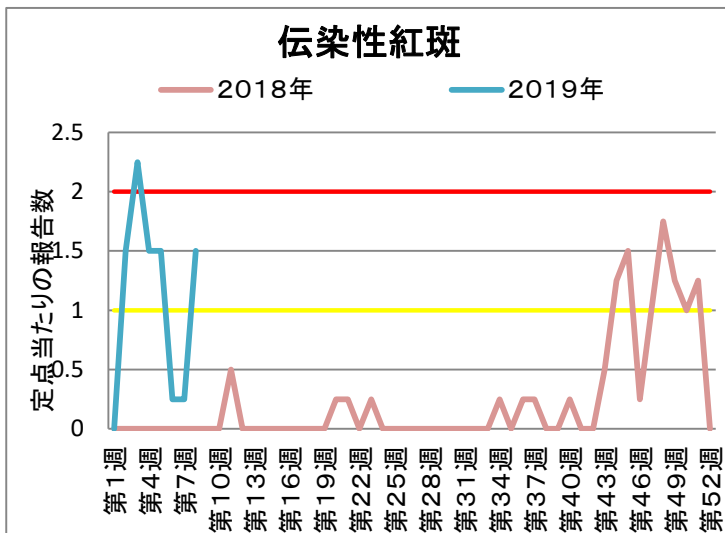
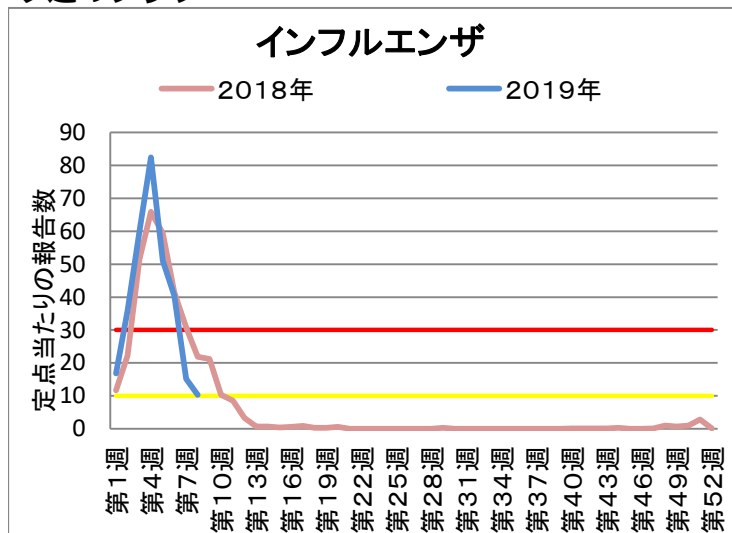
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点)

第 8 週 2019年2月18日 ~ 2019年2月24日

今週のコメント

- インフルエンザの報告数は減少しましたが、まだ多めです(定点あたり10.29)。引き続き外出後の手洗い等にご留意ください。
- 伝染性紅斑の報告数は、昨年末から多めに推移しています(定点あたり1.5)。この疾患は、両頬に紅斑、手足にレース状の発疹が出ることもある、小児に多い病気です。感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染です。予防には手洗いや咳エチケットが重要です。
- 感染性胃腸炎の報告数は低下してきました(定点あたり6.00)。引き続きカキ等の生食、嘔吐や下痢時の手洗い等にご注意ください。
- 厚生労働省からの2月22日付報告によると、風しんと麻しんの患者報告が続いているとのことです。特に大阪での麻しん症例の報告が多いので、ご注意ください。

今週のグラフ



* 赤線は流行警報基準値です 黄線は警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当りの報告数	疾病名	定点当りの報告数
インフルエンザ	10.29	伝染性紅斑	1.50
RSウイルス感染症	0.75	突発性発しん	-
咽頭結膜熱	-	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	6.00	急性出血性結膜炎	-
水痘	-	流行性角結膜炎	-
手足口病	0.25		

定点当りの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所

小児科定点(インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所

眼科定点 : 1箇所

参考資料等

報告週対応表

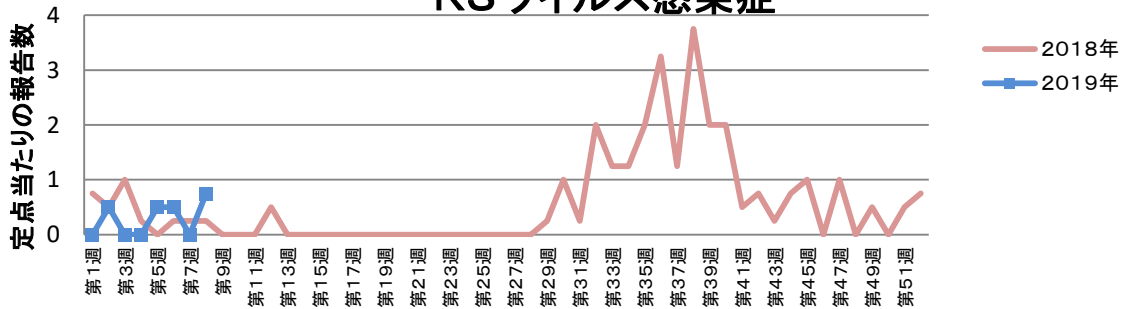
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

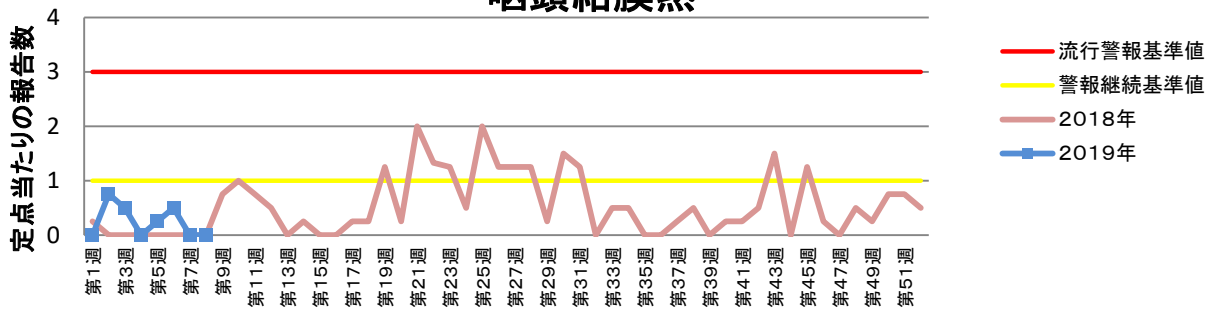
インフルエンザ



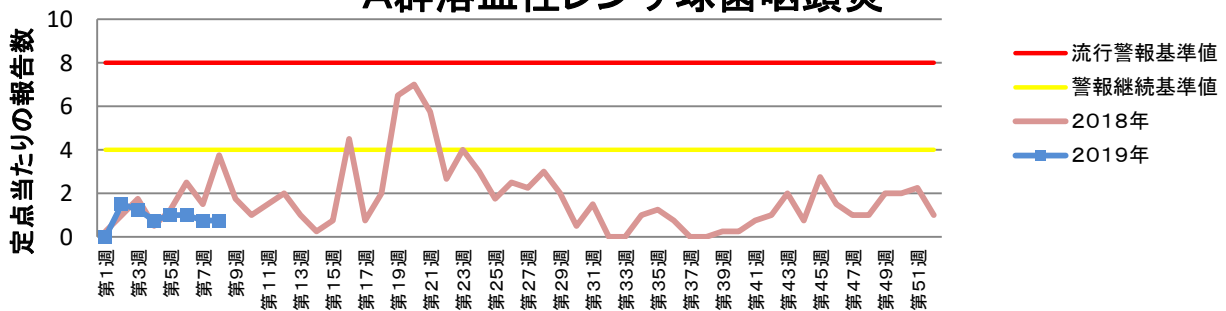
RSウイルス感染症



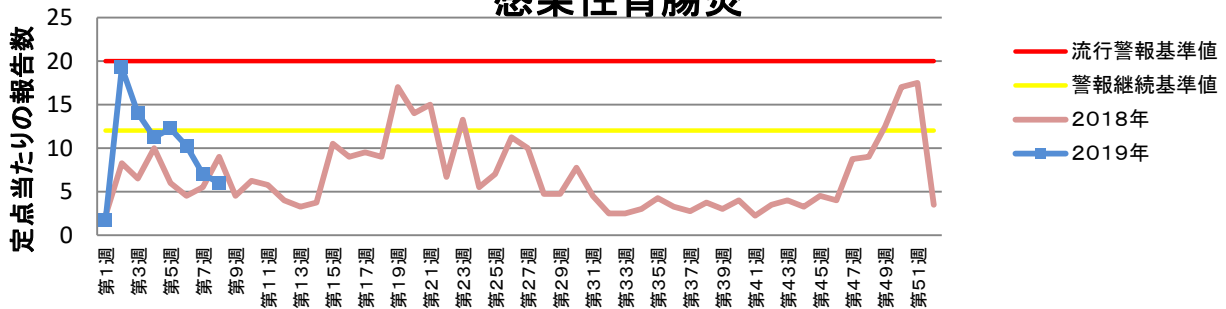
咽頭結膜熱



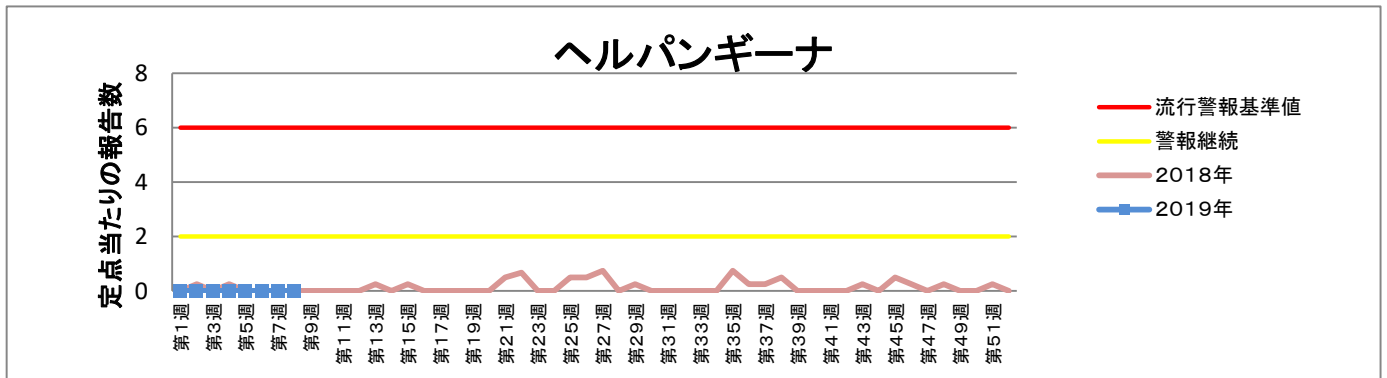
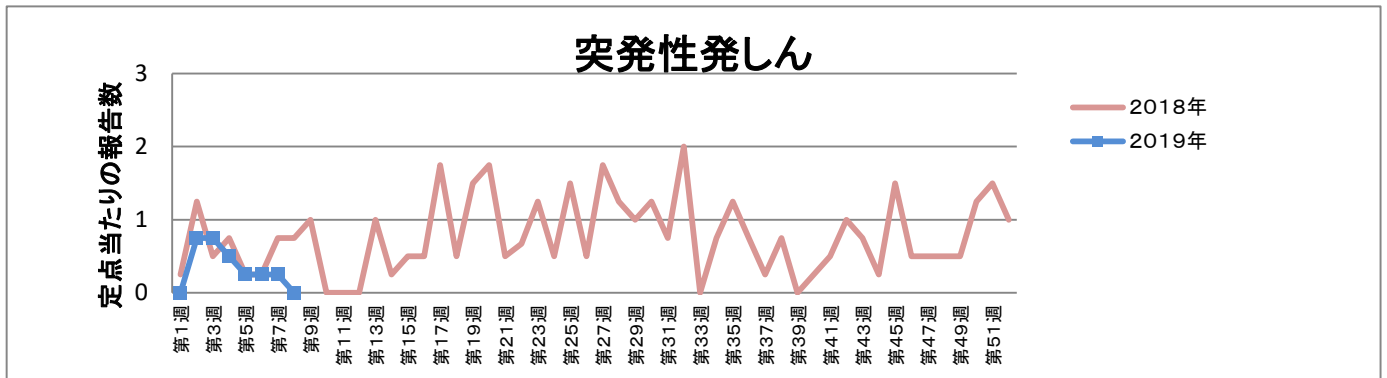
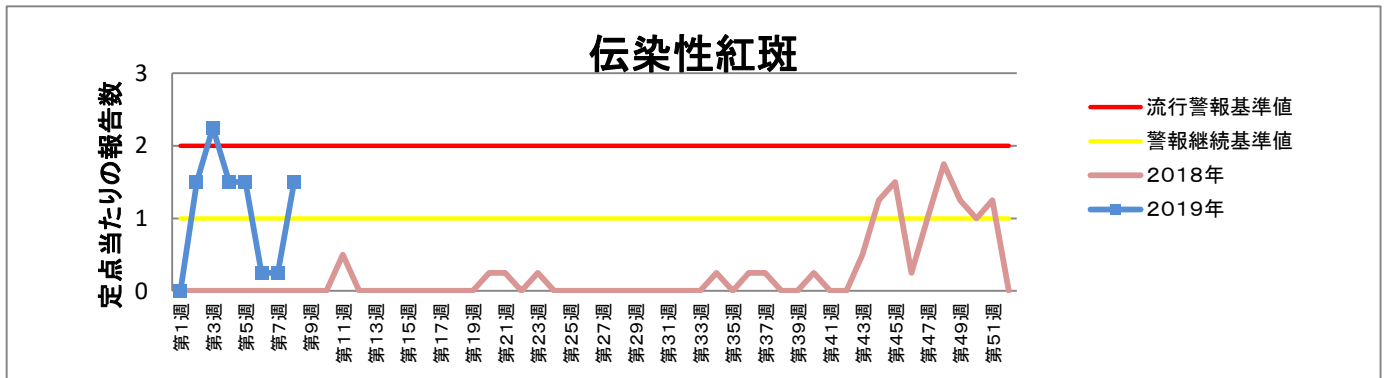
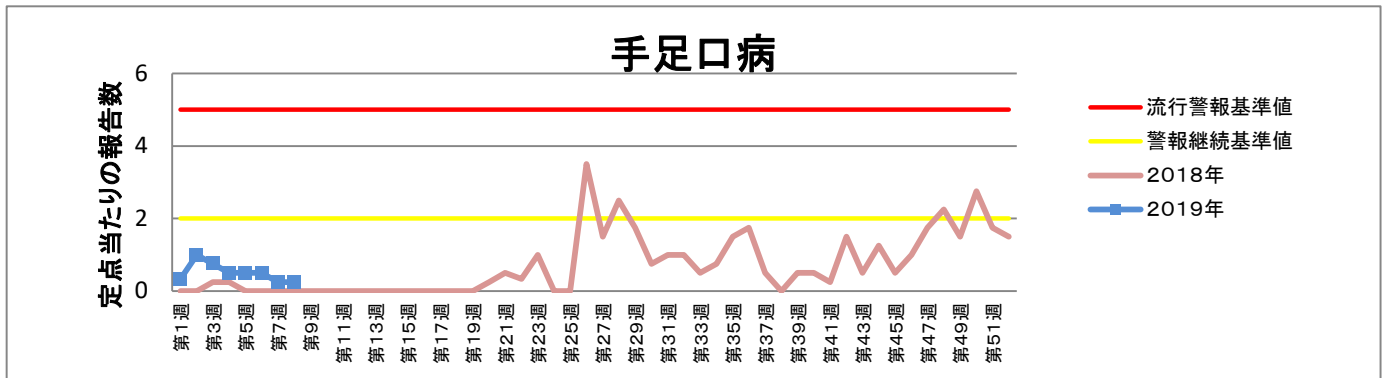
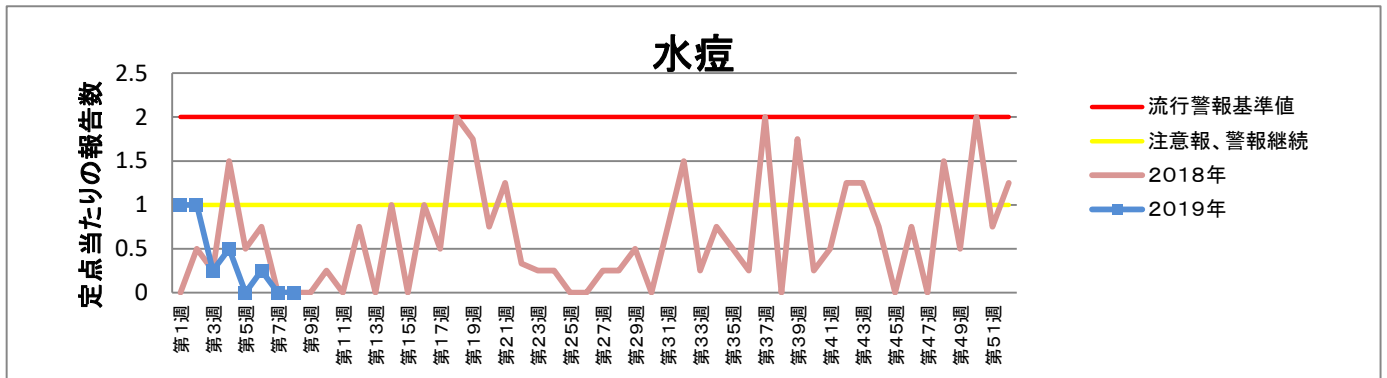
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

